

新西町内会広報

夏号

発行責任者
増川美佐恵

第69回 新西町内会子どもみこし

幼児から高校生 27名の子どもたちが参加

上川神社祭宵宮の7月20日（月・祝）、新西町内会子どもみこしが町内を巡行した。今年は、高校生3人を含む子ども27名と役員をはじめサポーターの大人が39名、同行保護者も多数参加があった。

8時の受付開始に合わせて子ども達が徐々に集まり、各連合色の鉢巻きを受け取っていた。



受付の様子

巡行式

巡行式は、正式な神事として行われるため、参加者には脱帽の協力をお願いしている。神主により、みこし巡行の安全、町内会の発展が祈願され、玉串奉奠に移った。

まず、蜂谷町内会長と菅原新西老人クラブ会長、以下、子ども代表で6年生の蜂谷篤翔さんと高校1年生の小笠原

蒼介さん、佐々木神社部長と藤田青少年部長、最後に実行委員長を務める酒井第一連合部長が、祭壇に玉串を捧げた。



祭壇



巡行式

巡行式が終了し、酒井実行委員長が「今年は69回の子どもみこしです。来年は70回100回まで続くおみこしにしましょう」と、伝統ある行事に継承の願いを込め挨拶した。

その後、藤田青少年部長から本隊の子どもたちにお賽銭箱やお餅、太鼓など役割が発表されていよいよ出発！

巡行スタート

今年は、巡行所用時間の短縮を考慮して、コースを若干変更した。家の前でおみこしの到着を待つ方々から、お賽銭の奉納を受けると「ワッショイ、ワッショイ」の元気な掛け声で幸せを願った。



出発準備の様子



巡行の隊列



元気を届ける中高校生

休憩

休憩所では、婦人部幹事から冷えたジュースや凍ったゼリー、お茶が提供され、参加者は暑さや疲れを癒していた。

本みこし巡行 3年振り



旭西第1公園の休憩所



久々の本みこし

2箇所目の休憩所「旭西第1公園」から、最後の休憩所「駒形屋」様までは本みこしが巡行した。本みこしは、コロナ禍明けの令和5年に町内を移動してから、参加者減少や低年齢化により巡行を休んでいたが、今年は大人の力を借り全体の3分の1程の距離を巡行。

中高生と役員が舗道や車道を慎重に移動させ、各家の前で本みこしを上げた。

「駒形屋」様の休憩所から新西会館までは、再び樽みこしに変わり約2時間30分の巡行は終了した。

子どもたちは、鉢巻きと引き換えにお土産のジュースやお菓子、クオカードを受け取り笑顔で帰宅した。

幼児隊

本隊に同行していると「幼児隊はいつごろ来ますか？」と、毎年尋ねられる。幼児隊のかわいいパワーを楽しみに待っている方々がたくさんいる。待ち時間も和みのひととき。幸せホルモン増量です。



幼児隊みこしの台車は車いす



幼児隊の隊列



汽車ポッポで移動中



力を合わせワッショイワッショイ

夏季 ラジオ体操

7月24日～8月2日

旭西第1公園で、10日間行われたラジオ体操。雨天中止が1回。今年は雨の影響で、地面が濡れている日が続く、長靴を履いて体操する参加者もいた。

藤田青少年部長によると、近年は、子どもより大人の参加者が多い傾向にあるとのこと。最終日には、これまでの参加者18名（子ども6名）に記念品が渡された。



7/25の体操風景

記念品子ども用(上) 大人用(下)



編集後記

本号に掲載できなかった記事があり、次号でお伝えします。暑くなるのでご自愛を。